



テ ー マ	給食連絡会との連携による危機管理体制の充実
目 的	給食連絡会と連携・協力して、災害等に備え、食料、水の備蓄を含め給食提供の確保と対応方法など危機管理体制の充実を図る。
対 象 ・ 参 加 者 数	対象：北河内地区障がい者（児）関係給食施設連絡会会員 参加者数等：7施設12名（枚方市保健所管内施設含む） 危機管理アンケート協力施設数20施設（会員施設26施設）
実 施 主 体	大阪府四條畷保健所 枚方市保健所 協力：北河内地区障がい者（児）関係給食施設連絡会
実 施 時 期	平成28年2月17日（水）午後2時30分～午後5時 アンケート実施時期：平成27年11月18日～12月末
内 容 ・ 方 法	<p>1 内容</p> <p>北河内地区障がい者（児）関係給食施設連絡会（以下連絡会）は、年3回定例会を実施されており、その場を利用させていただく形で実施した。第1回定例会で趣旨説明、提案し同意を得て、第2回定例会において危機管理アンケートを実施、第3回定例会で結果の共有と危機管理体制の充実にむけグループワークを行った。</p> <p>第3回定例会における内容（保健所担当部分）</p> <p>(1) 危機管理体制の充実のためのアンケート結果について 大阪府四條畷保健所 広域栄養チーム</p> <p>(2) グループワーク テーマ「マニュアル作成」「備蓄食料等の充実」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
成 果 ・ 感 想	アンケート結果から、マニュアル作成の施設が25%、水の備蓄有りが55%、食料の備蓄有りが60%という結果であった。施設から、マニュアルが未作成であり整備していききたい、備蓄については予算と収納場所の確保の難しさ、研修や訓練ができていない、施設内で危機管理の共有が十分でない等の課題が出された。課題を解消していくためには、倉庫の整理から始めて備蓄スペースを作る、分散して収納場所を確保するなど身近なアイデアが出された。可能などころから取り組んで充実に繋げていくことが必要であるという共通認識を持つことが出来たと思われる。今後も、連絡会と連携しながらマニュアル作成をはじめ備蓄食料の充実など危機管理体制の充実を図っていききたい。
担 当 窓 口 （ 連 絡 先 ）	大阪府四條畷保健所 広域栄養チーム（電話番号072-878-1021）